



HPはこちら

2025年度年末手当 JR労働者の想い ③

年末手当「全社員一律」「3.7ヶ月」満額回答を実現しよう！

- 仕事はどんどん業務量が増え、生活にかかるお金も増えているため、3.7ヶ月が必要です。業務の融合や勤務の関係でみんな苦勞しています。全社員一律に支給するべきです。差をつけることはおかしい！（上信越）
- 第2四半期決算が発表され「業績見通し」を上方修正しました。会社は儲かっているのだから、社員にもっと還元するべきだ！（関東）
- 会社は毎回、出し渋るが出せない理由がありません。3ヶ月程度では年間6ヶ月にも届かない！年間6.5ヶ月は必要です！今年は春闘で賃上げをしたが社員の生活実態は変わりません。期末手当のしっかりとした月数が必要だ！（上信越）
- 生活は値上げラッシュで賃上げも追いつかない。補うために3.7ヶ月以上が必要だ！（東北）
- 社員の苦勞があつてこそ「増収増益」となっています。社員の苦勞を労うために3.7ヶ月は必要です。今後の会社発展を支える社員の頑張りを理解するべきだ！（上信越）
- 東日本ユニオンの情報を見て、過去最高だったときの会社の持ち出し額を知りました。要求は3.7でも足りないぐらいだ！（関東）
- 職場は、みんな休日出勤をしてなんとか回っている状況です。この社員の努力をしっかりボーナスに反映するべきだ！（上信越）
- 今は年間6ヶ月では足りません。年間6.5ヶ月以上は必要だと思います。物価も毎月様々なものが値上がり社員の生活は厳しいままです。会社の経営状況は好調で「組織再編」や「人事・賃金制度」を改正しようとしているのであれば3.7ヶ月を出すべきです。「勇翔2034」を社員一丸となり目指すのであれば社員のモチベーションが大事です。目指すことや社員に求めることは大きいのに、ボーナスが低かったらやる気が起きない！（上信越）
- 家族の介護などでお金がかかります。先行きを考えるとボーナスは満額回答が必要です。社員の生活もしっかり考慮した支給をするべきだ！（関東）
- 3.7ヶ月要求は妥当だと思います。リスクを背負いながら安全を担う仕事しています。一人ひとりの担務が増える中、社員のモチベーション維持のためにも、ある程度の給与水準は必要だと考えています。「年間6.5ヶ月以上」もちろん数字が多ければ多いほど良い！（上信越）
- 夏季手当が2.8ヶ月でした。これには多くの社員が愕然として怒りを覚えていました。会社の業績が好調な一方で、物価高により社員は苦しい生活をしています。会社が本当に社員と家族の幸せを考えているならば3.7ヶ月を出すべきです！（上信越）

経営側は社員の本音を受け止めるべきだ！